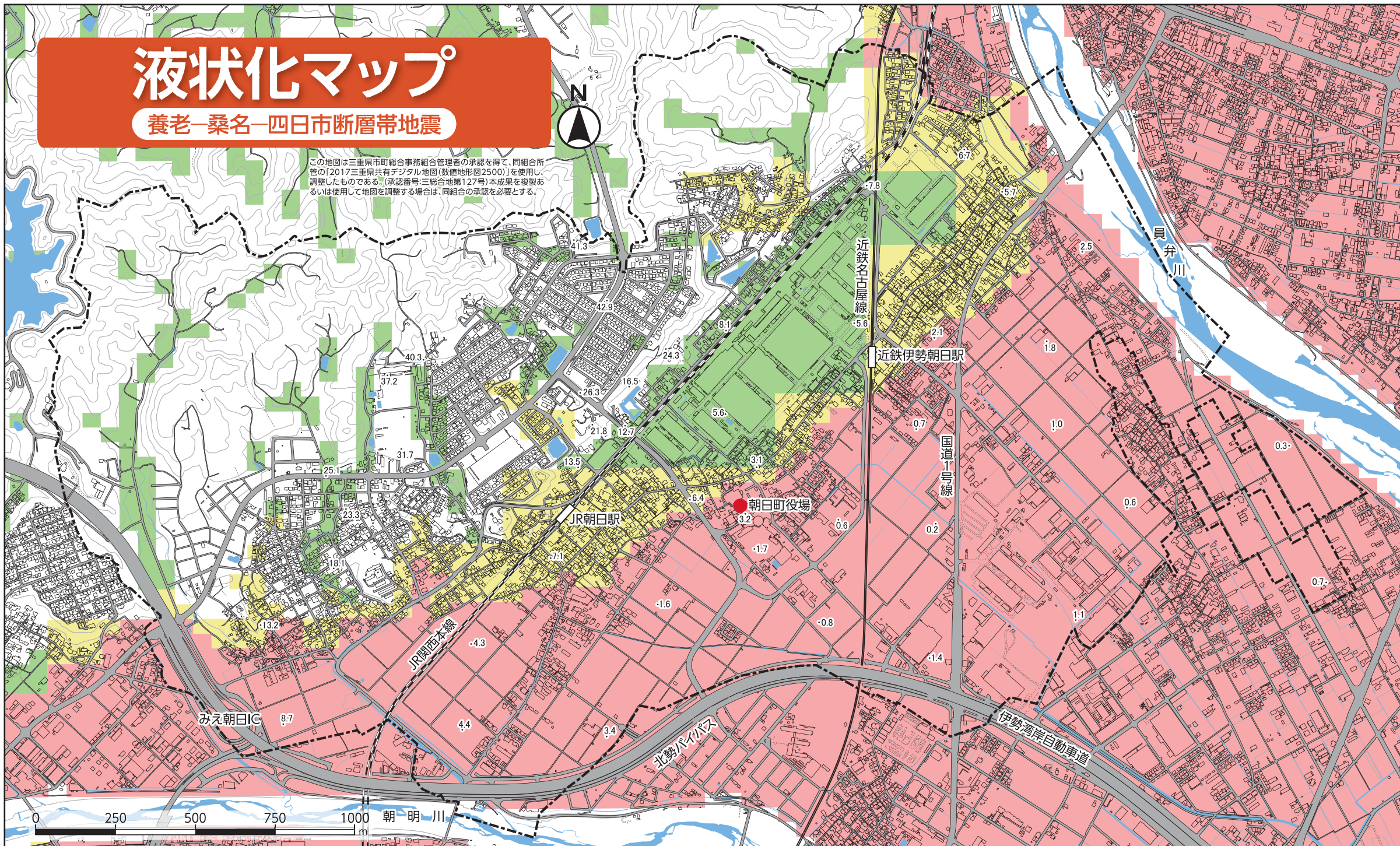


液状化マップ

養老―桑名―四日市断層帯地震

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図(数値地形図2500)」を使用し、調整したものである。(承認番号:三総合地第127号)本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とする。



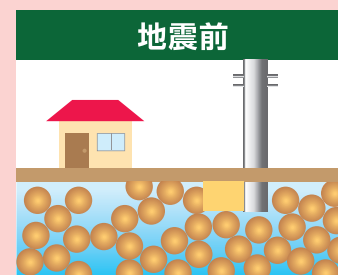
液状化マップは、養老-桑名-四日市断層帯を震源とした地震において液状化現象が発生する可能性を表したもので、以下の2つの調査結果を組み合わせて作成しました。

- ①平成25年度三重県地震被害想定調査
- ②国土地理院が昭和42年に調査・作成した土地条件図をもとに、それ以降に行われた規模の大きい地形改変を反映し、液状化の可能性のある土地条件(地形)を特定した結果

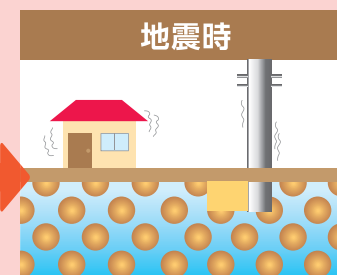
- 凡例
- 液状化の可能性が高い
 - 液状化の可能性がやや高い
 - 液状化の可能性がある

液状化発生のしくみ

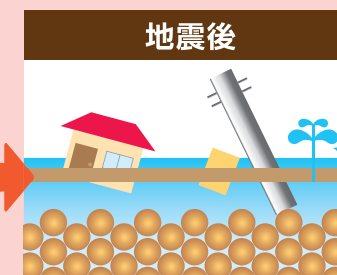
液状化とは、地下水の浅い砂地盤などで、地震による大きな揺れで地盤が一時的に液体状になる現象です。液状化が起これば、地盤を構成する砂の粒子が地下水の中に浮かんだ状態になり、水や砂を噴き上げたりします(噴砂現象)。また、地盤が液体状になることで、地盤が物を支えられなくなるため建物が傾いたり沈んだり、地下に埋設されている管路やマンホール等の浮き上がりが発生します。



砂などの粒子がお互にくっついて、その間を水が満たして地盤を支えている。



地震による激しい揺れによって、砂の粒同士が離れ、水に浮いた状態になる。

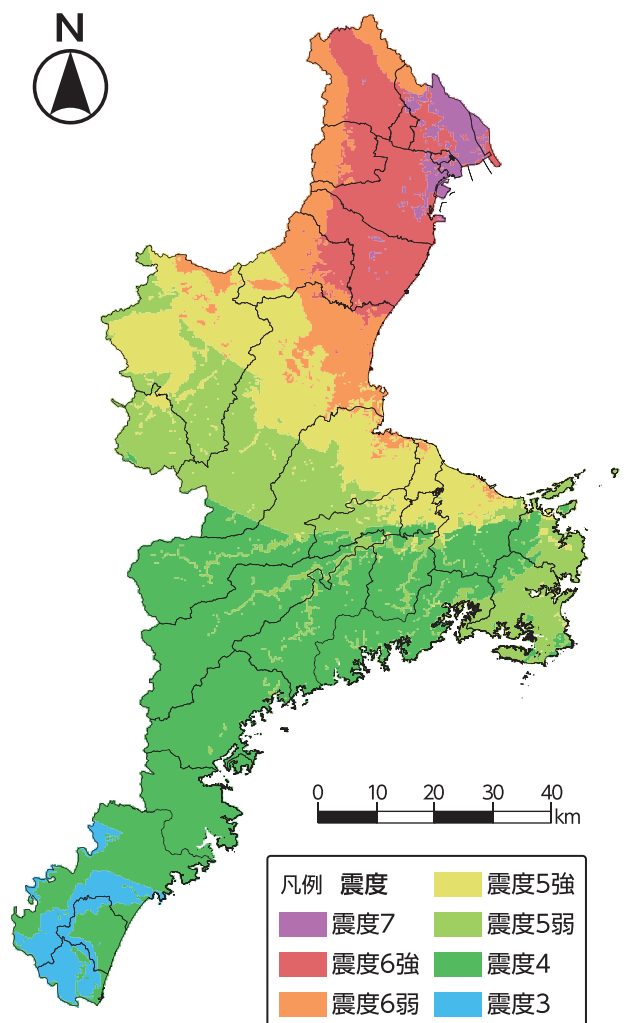
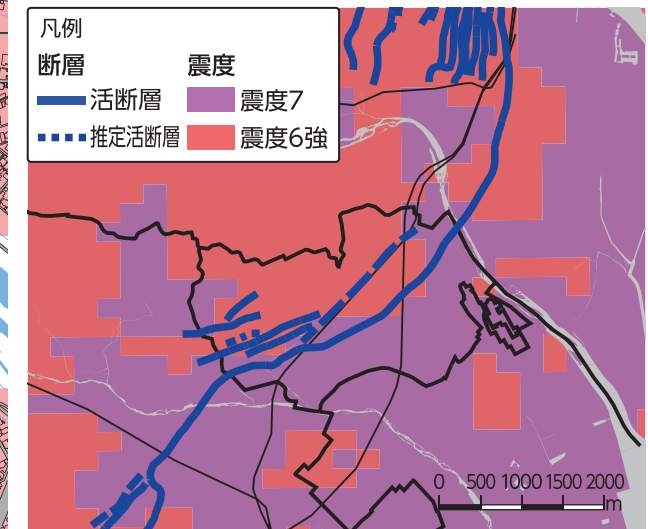


砂などの粒子は沈下し、水が地面に出てくることで、地盤の沈下や亀裂を引き起こす。

揺れやすさマップ

養老―桑名―四日市断層帯地震

揺れやすさマップは、地震が発生したときの揺れの大きさを250mメッシュ単位で示したものです。ここでは、養老-桑名-四日市断層帯地震を想定した場合のマップを掲載しています。なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりします。



- 凡例 震度
- 震度7
 - 震度6強
 - 震度6弱
 - 震度5強
 - 震度5弱
 - 震度4
 - 震度3